

日本土壌微生物学会 2025 年度定期総会資料

2025 年 6 月 15 日（日）15:40～16:30（予定）

茨城県県南生涯学習センター

総会次第

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 議長選出
4. 2024 年度事業報告
 - 1) 大会報告
 - 2) 会誌出版・編集報告
 - 3) 土壌微生物学会基金関係報告
 - 4) 評議員選挙結果報告
 - 5) 幹事会報告
 - 6) 会計報告
5. 2025 年度事業計画
 - 1) 事業計画案
 - 2) 学会事務の外部委託
 - 3) 予算案
6. その他
 - 1) 選挙管理規定の変更
7. 議長解任
8. ポスター賞受賞者発表
9. 次年度大会実行委員長挨拶
10. 閉会の辞

2024 年度事業報告

1) 2024 年度名古屋大会

日時：6 月 15 日（土）～16 日（日） オンラインと対面のハイブリッド（オンラインは視聴のみ）

参加数：会員（一般）113 名、会員（学生）24 名、非会員（一般）49 名、非会員（学生）16 名

一般講演 口頭 16 題、ポスター 33 題

大会シンポジウム「“ディープな” 土壤微生物の世界を“掘る”」 4 題

市民公開シンポジウム「持続的農業と土・微生物」 3 題

2) 会誌出版・編集報告

(1) 「土と微生物」出版報告

① Vol. 78-2(2024 年 10 月発刊) 113 頁：特別企画 2 編、シンポジウム 2 編、原著論文 2 編、書評 1 編、日本土壤微生物学会 2023 年度大会講演要旨、選挙管理委員会よりお知らせ

② Vol. 79-1(2025 年 4 月発刊) 68 頁：巻頭言、特別企画 3 編、シンポジウム 3 編、原著論文 3 編、こんなことが、いま

(2) 「土と微生物」投稿状況(2025 年 6 月 1 日)

	原著論文			シンポジウム・総説・解説		
	受付	受理	審査中	受付	受理	審査中
2025	0	0	0	4	4	0
2024	6	5	1	10	9	1
2023	4	3	0	7	7	0

3) 土壤微生物学会基金関係報告

(1) 2024 年度土壤微生物学会基金として2課題を採択し助成を行なった。

(2) 2025 年度土壤微生物学会基金として2課題を採択したが、条件付き採択とした1課題から辞退の申し出があったため、最終的な助成課題は1課題となった。

4) 評議員選挙結果報告(資料1)

5) 幹事会報告

(1) 2024 年度第 2 回幹事会

日時：2024 年 12 月 27 日(月) 13:00～15:00

開催方法：Zoom によるオンライン形式

(報告事項)

① 佐藤総務幹事から、R6.12 現在の会員数は 357 名であり、4 月よりも 14 名増加したことが報告された。2024 年度会費が未納の会員が 82 名と例年より多いことが問題点としてあげられた。

② 関口会計幹事から、資料に基づいて会計執行状況が報告された。

③ 多胡編集委員長から「土と微生物」誌の編集状況、投稿状況について報告された。

④ 池永 M&E 主任編集委員より M&E 編集委員会について報告があった。

⑤ 2024 年度千葉大会について村瀬大会運営委員長より報告された。

⑥ 大友幹事長（染谷委員代理）が日本農学会で本学会の退会が承認されたことを報告した。

⑦ 大友幹事長より、基金による研究助成について期日までに 2 件の応募を受け付けたことが報告された。今後、審査員による事前審査と評議員による協議を経て採択者を決定する。

⑧ 評議員選挙について公示を行って投票を開始したことが報告された。

(審議事項)

① 2025 年度茨城大会について、成澤大会実行委員長から資料に基づき説明があった。会場や日程案、シンポジウムの準備状況などの説明がなされた。

② 学会事務局業務の一部外部委託について関口会計幹事より複数社に見積もりをとって検討していることが報告され、学会支援機構に委託する方向で調整を進めることが了承された。

③ 犬伏学術会議等連絡委員より IUSS の Genealogy Book に掲載する本学会情報の確認があった。

④ 宍戸会長より東大微生物ウィークに協賛してジョイントシンポを行うことが提案・了承された。

- ⑤ 農水省の「遺伝子組換え生物等の生物多様性影響評価検討会」および「拡散防止措置確認会議」に本学会より推薦した南澤氏・對馬氏の後任の推薦を依頼され、検討することになった。

(2) 2025 年度第 1 回幹事会

日時：2025 年 6 月 6 日（金）15:00～17:00

開催方法：Zoom によるオンライン形式

(報告事項)

- ① 佐藤総務幹事が 2025 年 4 月末現在、正会員数は前年 4 月より 3 名増の 346 名、購読会員は 1 増 2 減の 21 機関 23 口、賛助会員は 2 会員増の 20 社 24 口であることを報告した。
- ② 原総務幹事から学会ホームページ管理やバナー広告、後援および共催について報告があった。2 件の研究集会やシンポジウムを後援するとともに東大微生物ウィークを協賛する。
- ③ 大友幹事長より東大微生物ウィークに対応する企画幹事に増田曜子氏を、また竹腰恵会計監査の後任として須賀有子氏を任命したことを報告した
- ④ 関口会計幹事が 2024 年度の会計執行状況と会計監査状況について報告した。
- ⑤ 多胡編集委員長が「土と微生物」誌の編集状況、投稿状況について報告した。
- ⑥ 大友幹事長が「Microbes and Environment」の出版状況について報告した。
- ⑦ 大友幹事長より評議員選挙および会長選任の結果について報告があった
- ⑧ 増田企画幹事より東大微生物ウィークについて報告があり、本学会からシンポジスト 2 名を推薦したことを報告した。
- ⑨ 大友幹事長が基金助成者の報告や 25 年度の採択状況について説明した。
- ⑩ 大友幹事長が鮫島玲子氏、吉田重信氏を農水省の委員に推薦したことを報告した。

(審議事項)

- ① 関口会計幹事より事務局業務の外部委託について準備状況の説明があり、幹事会で承認された案として評議員会に諮ることが了承された。
- ② 2025 年度予算案について、関口会計幹事から資料に基づき提案された。
- ③ 2025 年度茨城大会について、成澤大会運営委員長から準備状況等について説明があった。また、学生ポスター賞を学会事務局の主導で選抜し、総会で受賞者を表彰することが了承された。
- ④ 2026 年度大会は齋藤明広氏を実行委員長として静岡で開催する案が了承された。また 2027 年度以降の大会開催地について評議員会で検討することになった。
- ⑤ 選挙規約の変更案について幹事長より提案があり評議員会・総会に諮ることが了承された。

6) 会計関連報告（資料 2）

- (1) 2024 年度会計報告
- (2) 2024 年度会計監査報告

2025 年度事業計画

1) 2025 年度事業計画案

- (1) 2024 年度茨城大会を開催する。
- (2) 学会誌「土と微生物」を発行する。
- (3) 2025 年度大会を静岡理工科大学主催で開催するための準備を進める。
- (4) 土壌微生物学会基金による研究助成を行う。

2) 学会事務の一部外部委託について（資料 3）

3) 2024 年度予算案（資料 4）

4) 選挙規約の改定について

地域選出評議員選挙規約

現行) 4. 有権者は改選当年 7 月 1 日時点での会費を完納した正会員とする。ただし会長経験者は評議員に準ずる立場にあるため被選挙人とししない

修正案) 4. 有権者は改選当年 7 月 1 日時点での会費を完納した正会員とする。ただし会長経験者は評議員に準ずる立場にあるため被選挙人とししない。また、幹事会メンバーはその在任期間中は評議員に選出しない。

（資料１）2024 評議員選挙及び会長選出の結果

2024 年 11 月～2025 年 1 月の評議員選挙にて、下表の各氏（敬称略）が地域選出評議員に選出された。投票総数は 92 票、投票率は 25.6％であった。地域選出評議員の協議により、豊田副会長が次期会長に選出された。豊田次期会長により、成澤才彦氏が次期副会長に指名された。また会長指名評議員として下表の各氏（敬称略）を選出した。

【地域選出評議員】		
選出ブロック	評議員氏名	所属
北海道東北	伊藤 英臣	産業技術総合研究所 北海道センター
	加藤 広海	東北大学 大学院 生命科学研究科
関東甲信越	宇佐見 俊行	千葉大学 園芸学部
	大塚 重人	東京大学 大学院農学生命科学研究科
	國頭 恭	信州大学 理学部
	染谷 信孝	農研機構 植物防疫研究部門
	西澤 智康	茨城大学 農学部
	吉田 重信	農研機構 植物防疫研究部門
中部近畿	村瀬 潤	名古屋大学 大学院生命農学研究科
	渡邊 健史	名古屋大学 大学院生命農学研究科
中国四国九州	池永 誠	鹿児島大学 農学部
	龍田 典子	佐賀大学 総合分析実験センター

【会長指名評議員】		
	評議員氏名	所属
	池田 健太郎	法政大学 生命科学部
	齋藤 明広	静岡理工科大学 理工学部
	鮫島 玲子	静岡大学 学術院農学領域
	清水 将文	岐阜大学 応用生物科学部
	東條 元昭	大阪府立大学 大学院農学研究科
	増田 曜子	東京大学 大学院生命科学研究科
	三星 暢公	片倉コープアグリ株式会社
	門馬 法明	園芸植物育種研究所

- ✓ 今回選出された会長・副会長・評議員の任期は 2025 年 6 月～2027 年 4 月であるが、運用上は大会総会をもって新体制に移行することになっている。

(資料2) 日本土壤微生物学会 2024 年度会計報告 (2025.3.31 現在)

① 2024 年度収入の部

項 目	予算額	決算額	差額	執行率	備考
前年度繰越金	4,006,647	4,006,647			
正会員費	1,670,000	1,585,000	-85,000	95%	317名分*5,000円
購読会員費	144,000	144,000	0	100%	24口*6,000円
賛助会員費	220,000	190,000	-30,000	86%	19口*10,000円
M&E誌代金	10,000	5,000	-5,000	50%	
大会運営費返金	300,000	406,673	106,673	136%	名古屋大会返金
印税、著作権料	100,000	70,921	-29,079	71%	印税、著作権料
雑収入	20,000	19,427	-573	97%	バナー広告料、預金利子、年会費過払い、大会参加費誤入金を含む
小計 (単年度収入分)	2,464,000	2,421,021	-42,979	98%	
合計 (繰越金を含む)	6,470,647	6,427,668	-42,979	99%	

② 2024 年度支出の部

項 目	予算額	決算額	差額	執行率	備考
会誌刊行費	1,200,000	1,137,810	-62,190	95%	Vol.78No.1(503,092円)、Vol.78No.2(634,718円)
大会運営費	300,000	300,000	0	100%	2025年度土浦大会準備費(300,000円)
日本農学会分担金	50,000	0	-50,000	0%	日本農学会から脱会
M&E誌印刷・発送手数料	20,000	10,000	-10,000	50%	M&E購読会員5,000円×2名(Vol39-2~40-1)
M&E誌共同編集・出版費	200,000	200,000	0	100%	確定額
公開シンポジウム・出前授業経費	50,000	50,800	800	102%	公開シンポジウム講師旅費等
事務費	328,000	180,486	-147,514	55%	
事務管理費	40,000	1,980	-38,020	5%	ホームページ使用料
旅費交通費	30,000	1,164	-28,836	4%	諸会議出席費
会議費	70,000	28,839	-41,161	41%	Zoom契約料月払い(2,400円×2か月)、評議員会等関連経費(弁当代)
通信郵送費	100,000	85,084	-14,916	85%	会費請求、評議員選挙関連郵送料、郵便など
文房具費	3,000	2,530	-470	84%	のり、スクラップブックなど
諸印刷費	80,000	51,331	-28,669	64%	会議資料、会費請求、封筒など
雑費	5,000	9,558	4,558	191%	振込手数料など、大会参加費の誤入金返金、退会希望者の2025年度分会費過払金を返金
小計 (単年度支出分)	2,148,000	1,879,096	-268,904	87%	
小計 (次年度繰越金)	4,322,647	4,548,572	225,925		
合計 (繰越金を含む)	6,470,647	6,427,668	-42,979		

③ 日本土壤微生物学会基金 (2025.3.31 現在)

前年度末残高	当年度増加額	当年度減少額	当年度末残高	備考
3,998,662	494	500,880	3,498,276	佐賀大 龍田典子さん(20万円+振込手数料) 宇都宮大北村里香さん(30万円+振込手数料) 利子(494円)

④ 財産目録 (2025 年 3 月 31 日現在)

項 目	金 額
現金	18,544
ゆうちょ振替口座	640,500
ゆうちょ銀行総合口座	3,889,528
ゆうちょ銀行通常貯蓄貯金口座(基金用)	3,498,276
財産合計	8,046,848

会計監査報告

2024 年度会計の監査を 2025 年 5 月 26 日に実施した。

2024 年度 会計監査報告

本日、金銭、出納簿、預金通帳および各種領収書について詳細に監査した結果、各帳簿、領収書ともに極めて整然としており、支出収入に誤りのなかったことを報告いたします。

日本土壤微生物学会会計監査委員

氏名 岡田 浩明 

令和 7 年 5 月 26 日

氏名 須賀 有子 

令和 7 年 5 月 26 日

監査時の指摘等

- ・赤字もなく健全に運営されていると思われる。
 - ・基金と合わせた残額が多い
- > 今年度途中より会員管理業務を委託することを検討している。

（資料3）学会事務の一部外部委託について

学会事務の軽減のため事務局業務の一部を外部委託する方針が昨年の総会で提案されたことを受けて複数の委託先を検討した結果、会員管理業務を中心に一般社団法人 学会支援機構に委託することが幹事会・評議員会で承認された。

（委託する業務）

- ・ 会員名簿の管理、そのためのオンラインシステムの提供
- ・ 入退会の受付
- ・ 住所など会員情報変更の受付
- ・ 会費の納入管理
- ・ 学会誌の送付

（委託に要する費用）

- ・ 会員管理費、学会誌発送手数料、年会費領収証発行手数料など 年額 33 万円（初年度は月割）
- ・ 郵送料、コピー代などの実費
- ・ 引き継ぎに要する事務経費 22 万円（初回のみ）
- ・ 初回 ID パスワード発行費用 8 万円（次年度以降は新規加入者のみ）

FAQs

- 委託のメリットは？
 - ・ 入退会手続き・会員管理業務・会費納入の確認業務に係る、事務局業務の軽減。
 - ・ 連絡先など会員管理情報が適時更新される。
 - ・ 年会費の円滑な納入による学会運営の安定化。
 - ・ 人為的なミスによる会費納入の記録漏れを防止。
 - ・ 会員名簿と学会誌送付先リストが連携され、送付ミス・送付漏れを防止。
（これまでは発行の都度、送付先リストを事務局から出版社に送付していた）
- 学会員にとってこれまでと変わることは？
 - ・ 入退会や連絡先変更の手続きは、個人ページでの Web 管理に変更となります。
 - ・ 学会費の支払い履歴を個人ページで確認できるようになります。
 - ・ 年会費は、払込取扱票により、郵便局、ゆうちょ銀行、コンビニからのお支払いになります（オンライン決済には対応していません）。
 - ・ 公費からお支払いの場合でも、原則払込取扱票でお支払いいただくようお願いします。
 - ・ 領収証は払込受領証をもってかえさせていただきます。
- 個人で Web 管理に対応できない場合は？
 - ・ メール、Fax で対応可能です。事務局にご相談ください。

(資料4) 2025 年度予算

(1) 2025年度収入の部			参考(2024年度)		(2023年度)
項 目	予算額	算出方法	予算額	決算額	決算額
前年度繰越金	4,548,572		4,006,647	4,006,647	3,666,609
正会員費	1,690,000	5,000円×338名(正会員346名-会費免除者8名=338、5/20時点)	1,670,000	1,585,000	1,425,000
購読会員費	138,000	6,000円×21機関23口(5/20時点)	144,000	144,000	174,000
賛助会員費	240,000	10,000×20社24口(5/20時点)	220,000	190,000	190,000
M&E誌代金	5,000	5,000円×M&E購読会員1名(5/20時点)	10,000	5,000	5,000
大会運営費返金	300,000	茨城大会返金	300,000	406,673	106,856
印税、著作権料	100,000	印税、著作権料	100,000	70,921	111,054
雑収入	20,000	バナー広告料、預金利子	20,000	19,427	252,586
小計(単年度収入分)	2,493,000		2,464,000	2,421,021	2,264,496
合計(繰越金を含む)	7,041,572		6,470,647	6,427,668	5,931,105

(2) 2025年度支出の部(学会事務委託ありの場合)			参考(2024年度)		(2023年度)
項 目	予算額	算出方法	予算額	決算額	決算額
会誌刊行費	1,300,000	Vol.79No.1+郵送料、Vol.79No.2(郵送料は委託費に)	1,200,000	1,137,810	1,223,075
大会運営費	300,000	2026年度大会準備費	300,000	300,000	300,000
日本農学会分担金	0	日本農学会から脱会したため今後の負担なし	50,000	0	57,000
M&E誌印刷・発送手数料	5,000	M&E購読会員5,000円×1名(Vol.40-2~4、41-1)	20,000	10,000	0
M&E誌共同編集・出版費	200,000	確定額	200,000	200,000	200,000
公開シンポジウム・出前授業経費	50,000	公開シンポジウム講師旅費等	50,000	50,800	0
学会事務委託費用	580,000		—	—	—
引継事務費用	200,000	引継事務費用(次年度は負担なし)	—	—	—
会員管理業務委託費用	190,000	400人分(R7.9月~R8.3月の7か月で月割り)×消費税(次年度は通年で330,000の見込み)	—	—	—
パスワード通知関連費用	80,000	会員IDとパスワード発行手数料、郵送料(次年度は新規会員分のみ10,000の見込み)	—	—	—
学会誌等郵送料	60,000	Vol.79No.2の会誌送付	—	—	—
会費請求郵送料	30,000	人数分×1回+未納者再送郵送料	—	—	—
その他事務経費	20,000	銀行印作成費用、コピー代、郵送料	—	—	—
事務費	148,000		328,000	180,486	144,383
事務管理費	20,000	ホームページ使用料、事務アルバイト謝金など	40,000	1,980	12,361
旅費交通費	10,000	諸会議出席費	30,000	1,164	8,500
会議費	40,000	Zoom契約料(2400円×2か月)、評議員会等関連経費	70,000	28,839	22,110
通信郵送料	50,000	郵便・宅急便	100,000	85,084	37,208
文房具費	3,000	のり、スクラップブックなど	3,000	2,530	517
諸印刷費	20,000	会議資料、学会封筒	80,000	51,331	63,192
雑費	5,000	振込手数料など	5,000	9,558	495
小計(単年度支出分)	2,583,000		2,148,000	1,879,096	1,924,458
小計(次年度繰越金)	4,458,572		4,322,647	4,548,572	4,006,647
合計(繰越金を含む)	7,041,572		6,470,647	6,427,668	5,931,105

2024年度予算案からの増額分合計	680,000
2024年度予算案からの減額分合計	245,000
	435,000